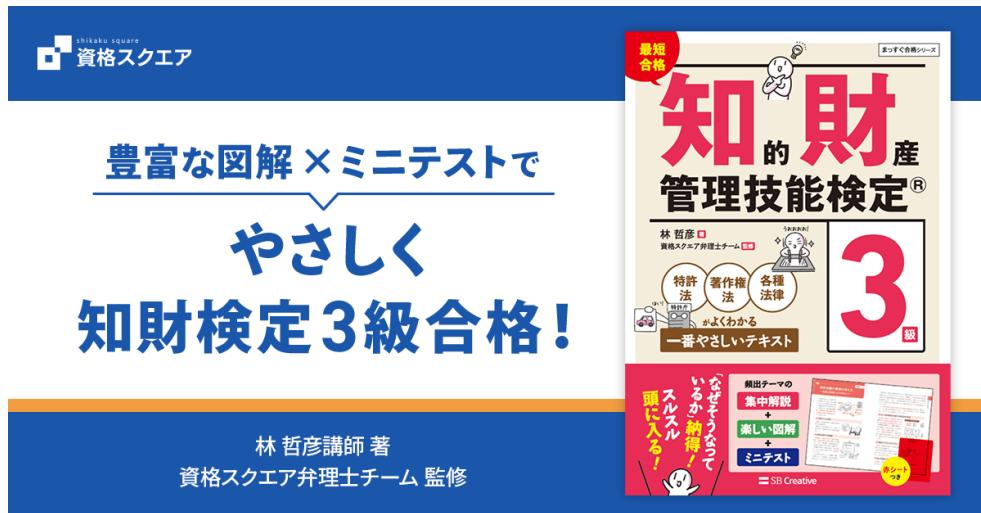


プレスリリース

2024年7月25日
株式会社レアジョブ

資格スクエア弁理士講座 林 哲彦講師が書籍デビュー
「一番やさしい」知財検定3級対策テキスト
SBクリエイティブから8月1日発売

EdTech カンパニーの株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）は、オンライン予備校「資格スクエア」において弁理士講座の講師を務める林 哲彦講師が、著書である『最短合格 知的財産管理技能検定®3級』（SBクリエイティブ）を8月1日に出版することをお知らせいたします。本件において「資格スクエア」は監修に携わるなど全面協力いたしました。



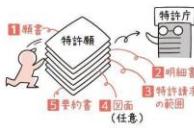
■『最短合格 知的財産管理技能検定(R) 3級』について

本書では「特許法・著作権法・各種法律がよくわかる一番やさしいテキスト」をキャッチコピーに、イメージを掴みやすい豊富な図解とミニテストで、知的財産管理技能検定®3級合格に必要な知識を分かりやすく、効率的に身につけることが可能です。

出版に際し、レアジョブは「資格スクエア弁理士チーム」として全面的な監修を担当したほか、Amazonからのダウンロード特典として撮りおろしの講義動画を提供しています。

06 重要度★★★
特許出願の書類の作り方
～出願は電話じゃできない～

特許権を取得したい発明を特許庁に明確に伝えるため、特許出願をするには明細書の内容を記載した書類を提出する必要があります。具体的には、特許出願の①請求書に、②特許請求の範囲、③必要な図面、④要約書を添付して提出します。



■ 表紙代わりの願書

願書は、特許権を請求する意思を特許庁に表示する書類です。



願書には、特許出願をする人（出願人）の氏名や住所、発明者の氏名や住所を記載します。

■ 発明を説明する明細書

明細書は、①発明の名称や②発明の詳細な説明、③図面の明細書が記載された書類です。つまり、明細書は、特許権を取得したい発明の全体像を文章で記載した書類です。

明細書に記載した発明の内容は、特許出願から1年半又は2ヶ月後に公開されます（出願公開といいます）。

この公開をする代わりに、明細書に記載した発明について、特許権という独占排他権を取得するチャンスが与えられるわけです。

32

特許法は、公開した発明を利用してさらに優れた発明をしてもらうことで技術を進歩させようとするものです。そのため、明細書は、その発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が実施できる程度に、明確かつ十分に記載する必要があります。つまり、その発明を再現できるように記載してね、ということです。再現できない発明を公開しても、誰も利用できないので技術が進歩しないからですね。

ここで発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者は、簡単にいえど、その技術分野で発明者になれるくらい詳しい専門家のことです。知財業界では、この人のことを当事者といつたりします。

■ 欲しい権利範囲を記載する特許請求の範囲

特許請求の範囲は、権利範囲を記載した書類です。特許請求の範囲に記載された発明に独占排他権である特許権が発生します。

特許請求の範囲には、公開する範囲、つまり明細書から特許権を取得したい発明を抽出し、明確かつ簡潔に記載します。

特

許

請

の

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

開

す

る

範

囲

は

公

【レアジョブグループの事業展開について】

EdTech カンパニーのレアジョブグループは、グループビジョン“Chances for everyone, everywhere.”に基づき「世界中の人々が、それぞれの能力を発揮し、活躍できる世の中の実現」を目指しています。オンライン英会話をはじめ、AI ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS®」などアセスメントを軸とし、個人・法人・教育機関などを対象に事業を展開。また、英語だけでなくグローバルリーダーに必要な評価・育成・採用など人材関連サービスや、資格取得を支援するサービス、K12 領域における子ども子育て支援サービスも幅広く提供。今後も、国内のみならずグローバルな事業展開を推進してまいります。

【提供サービス】

◆英語関連サービス

—オンライン英会話サービス

- ・オンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」
- ・オンライン完結成果保証型英会話プログラム「スマートメソッド®コース」

—アセスメントサービス（英語力測定）

- ・ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS®」
- ・英語スピーキング力診断アプリ「PROGOS®」

—法人向け人材育成関連サービス

- ・グローバルビジネススキル習得プログラム「グローバルスキル Powerトレーニング」
- ・法人向けグローバルリーダー育成研修サービス

◆資格取得支援サービス

- ・オンライン予備校「資格スクエア」

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川

メール：press@rarejob.co.jp